

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年04月10日

計画の名称	湘南港における安全・安心の港づくり（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～平成31年度（3年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	神奈川県												
計画の目標	建設後50年以上が経過している湘南港において、江の島大橋を含む臨港道路の補修・補強を行い、構造物の長寿命化を図る。あわせて、休日を中心として発生している渋滞の解消を図るため、臨港道路の拡幅を行い、安全・安心な道路環境を確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	498	A	498	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 平成29年度	中間目標値	最終目標値 平成31年度
1	江の島大橋を含む臨港道路の長寿命化を図り、点検診断判定区分Aを解消する。 維持管理計画策定時の点検診断結果（A判定）に対し、適切な補修・補強を行い、A判定を解消する。	1判定	判定	3判定

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む
※本計画の計画期間は平成29年度から平成31年度まで ※目標値については、A判定を1、C判定を3と表記 ※A判定：施設の性能が低下している状態 ※C判定：施設の性能にかかわる変状は認められないが、継続して観察する必要がある状態										

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H29	H30	H31					
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
港湾事業	A02-001	港湾	一般	神奈川県	直接	神奈川県	地方	改良	臨港道路拡幅補修	臨港道路拡幅補修 L=1545m	湘南港 江の島 地区	■	■	■			498		策定済
											小計						498		
											合計						498		

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

計画の名称	湘南港における安全・安心の港づくり（防災・安全）		
計画の期間	平成29年度 ～ 平成31年度（3年間）	交付対象	神奈川県



交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H29	H30	H31
配分額 (a)	75	45	40
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0
交付額 (c=a+b)	75	45	40
前年度からの繰越額 (d)	0	75	45
支払済額 (e)	0	75	58
翌年度繰越額 (f)	75	45	27
うち未契約繰越額(g)	75	4	8
不用額 (h = c+d-e-f)	0.0	0.0	0.0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))	100.0	3.0	8.9
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合 その理由	基本計画の策定に不測の日数を要したため		

事前評価チェックシート

計画の名称： 湘南港における安全・安心の港づくり（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性（計画の目標が港湾の整備計画や地域防災計画等の上位計画と整合している。）	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応（課題を踏まえた目標を設定し、課題への対応方針が妥当である。）	○
II. 計画の効果・効率性 ①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性 ②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果（事業規模、施設諸元が適切であり事業実施により十分な効果が発揮される。）	○
III. 計画の実現可能性 ①地元の機運 1) 多様な主体との連携が図られている	○
III. 計画の実現可能性 ①地元の機運 2) 地元や地元市町との調整が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 ②円滑な事業執行の環境 1) 住民等の合意形成が整っている。	○
III. 計画の実現可能性 ②円滑な事業執行の環境 2) 事業計画のスケジュールは妥当なものとなっている。	○